高田川新聞

2017年　2月27日

発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲　三月場所

平成29年　3月12日より15日間

於　エディオンアリーナ大阪
（大阪府立体育会館）

高田川部屋
三月場所　大阪道場

東大阪市御厨栄町1-1-4
ＴＴＳセンター

高田川部屋では、これからの大相撲を担う15歳から22歳までの新弟子を広く募集しております。
（自薦他薦は問いません）
また、さまざまな特典付の高田川部屋後援会（東京、大阪、名古屋、福岡）もございます。

高田川部屋　勢　好　発　進

両関取揃い踏みで勝ち越し

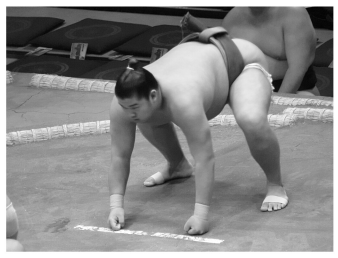
大関・稀勢の里の初優勝に沸いた平成二十九年の初場所。場所直後の一月二十五日には十九年ぶりとなる日本人横綱誕生と相成って相撲ブームを力強く牽引した。高田川部屋の力士たちも幕内・輝、十両・竜電の両関取を筆頭に半数を超える十名の力士たちが見事勝ち越しし、一門の横綱誕生に花を添えた。

エンジンのかかりの遅い輝は初場所も黒星からのスタート。九州場所同様、白黒の星を繰り返すも後半は四連勝して八勝と勝ち越した。完璧な内容の時の輝は、立ち合いよく相手をかち上げ、両差して寄り切る。しかし、黒星の内容を観てみると、小さい相手に懐に入られ下から下からの攻めに屈したり、突っ張らず大型力士と不用意に組んで投げを食う。前半戦、土俵際の詰めも甘く、取れる星を落とした。プロ野球の名将・野村克也氏の座右の銘に「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉がある。つまり、勝ちには不思議な勝ち方があるが、負けには必ず理由があるというもの。関取、特に幕内ともなると鎬（しのぎ）の削り合い。長所を磨くだけでなく、弱点を克服し、取れる星を確実に取ってこそ、二桁勝利、そしてその先に三役が見えてくるのではないか。

竜電も黒星先行の苦しい星取ながら後半戦は六勝一敗と一気に波に乗り、終わってみれば二場所連続の九勝。目標の二桁勝ち星には届かなかったものの、勝ち越しを四場所連続（※うち二場所は幕下）とし、十両定着を印象づけた。圧巻は千秋楽の小柳戦。これまで二度負けている小柳に、土俵際投げを打ち返して小柳が落ちた。物言いの末、取り直しとなったが、それでも落ち着いた相撲で売り出し中の若手を土俵の外へ押し出した。気持ちを前に出しながらも勝ち気に逸らず、落ち着いた相撲を取りきれれば初の二桁勝利はすぐ手の届くところにある。

湘南乃海　八場所連続飛躍賞

いつも礼儀正しい印象の湘南乃海だが、取材で話を聞くと部屋では一番のビッグマウス。いつも決まって勝ち越しではなく、大勝ちを狙うという。そして、黒星三つの切羽詰まった状況となっても「必ず勝ち越します」と言い切る。その言葉は自信からではなく、湘南乃海の【思い】に他ならない。絶対勝つ！という強い思い。それが湘南乃海を強く、そして連続勝ち越しと自己最高位更新をさせている要因なのではないか。実は入門以来、全勝はなし、六番勝ったのも二場所目に一度だけ。つまり、実際大勝ちはほとんどしていない。この八場所連続の勝ち越しも五勝は一度だけで、あとはすべて四勝。一歩一歩勝ちを重ねた結果なのだ。初場所、負けはしたが朝日龍戦を観て本当に強くなっていると実感した。いろんな手を繰り出す業師相手に簡単には落ちないだけでなく逆に強引ながら投げまで打つ。テレビ放送でも、湘南乃海の名前が登場する回数が格段に増えた。



湘南乃海に新年の抱負を尋ねたら「今年中に十両に上がりたい」と言った。三段目と幕下を往ったり来たりする力士が多い中、三段目に落ちることなど毛頭考えていない。もしかしたら、そんなことを思わせてくれる十八歳である。

次の関取の座を狙う白鷹山

強い白鷹山が復活しつつある。すべて四勝ながら三場所連続の勝ち越し。この二年で幕下十五枚目以内が九場所。うち六場所が一桁の番付だった。昨年五月に幕下筆頭までいった男は、体調を崩し、大きく体重を落とした。しかし、こつこつと病気を克服し、体重を戻して、粘りのある本来の相撲を取り戻してきた。幕下上位は関取経験者も多く強者揃いだが、堂々とした相撲で次の関取候補として大阪場所で暴れてくれることを期待したい。

三段目では、五勝をあげて大乗が約四年ぶりの幕下復帰。二度目の幕下では、まずは勝ち越して幕下定着を目指してもらいたい。また須磨ノ海は三場所連続の勝ち越しながら終盤二連敗。あと一つ勝っていれば初の幕下だっただけに、地元の大阪場所では確実に勝ち越して幕下昇進と自己最高位更新を手に入れてほしい。特に、ここ一番に強い精神面での成長が望まれる。

九州場所に続いてまたも優勝を逃したものの大雷童が六勝して三段目上位へ。大阪でも大勝して五月には幕下へ戻ってきてほしい。

＜ご当地力士紹介＞

神戸市出身の須磨ノ海です。
大阪場所の宿舎が家から近く、見学しているうちに相撲に興味が湧いて自分もやってみたいと高田川部屋に入門しました。得意の形はもろ差し。
地元なので勝ち越し以上目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。
本名：大西　遼（平成４年10月７日生）

幕内	輝	先場所	8勝7敗
十両	竜電	先場所	9勝6敗
幕下	白鷹山	先場所	4勝3敗
〃	安芸乃山	先場所	3勝4敗
〃	安芸乃山	先場所	4勝3敗
〃	湘南乃海	先場所	4勝3敗
〃	大乗	先場所	5勝2敗
三段目	須磨ノ海	先場所	4勝3敗
〃	大雷童	先場所	6勝1敗
〃	恵比寿丸	先場所	4勝3敗
〃	剛力山	先場所	3勝4敗
〃	大野城	先場所	0勝7敗
〃	暁	先場所	2勝5敗
〃	前乃富士	先場所	2勝5敗
〃	勝武士	先場所	2勝5敗
〃	太熊	先場所	1勝5敗
〃	前大将	先場所	3勝4敗
序二段	櫻	先場所	4勝3敗

※表記の番附は正式発表前の予想

立ち合いでの威力、手の伸びはよかったが、前半戦落とさなくてよい星を落とした。甘い部分を修正し、体調管理をしっかりして万全の状態で大阪場所に臨みたい。

下半身を鍛えて速い攻めが止まらないようにしたい。初日から思い切りのいい相撲が取れるよう強い気持ちを持って、二桁勝利をめざしたい。

気の緩みから二勝二敗から勝ちきれず四勝止まり。まずはメンタル。全部勝つつもりで思い切りぶちかましたい。

迷いが相撲に出てしまった。大阪場所では、いい意味で無心になって、基本を大切に前に出る相撲を取りたい。

焦りで情しい相撲を二番落とした。おやみに力がが、冷静に前に出る相撲で最低でも五番勝ちたい。

体が動けて勝てたが、もっと前に出る相撲を取らないとだめ。立ち合いを鋭く強く前に出て大勝を狙いたい。

足が出て前に出る相撲が取れたのがよかった。久しぶりの幕下。リベンジするつもりで勝ち越したい。

前に出る相撲で二場所続けて勝ち越せた。勝ち急がず、よい立ち合い、前に出る相撲で幕下を目指したい。

心のコントロールもできるよう基礎練習をみっちりやり、落ち着いて自分の形で相撲を取れるよう臨みたい。

まだ四つ相撲の力が足りなかったが四勝できた。今場所は当所場所なのでもっと力をつけて挑みたい。

立ち合いからよい流れで攻めたい。下から攻めること、そして落ち着いた自分の相撲で勝ち越したい。

初心に帰り、基礎運動を大切にしてよい相撲を取ることを心がけて全勝優勝目指して頑張りたい。

落ち着いて相撲が取れたが体調管理ができなかった。攻めをもっと磨いて大阪場所ではよい成績を収めたい。

体調管理に失敗してよい結果が出せなかった。下半身を強化して腰からしっかり相撲を取って勝ち越したい。

勝った一番だけは落ち着いて相撲が取れていた。膝を曲げ、相手の懐に入る自分らしい相撲を平常心で取りたい。

先場所は最後に休場してしまった。怪我を早く治し、自分のペースに持ち込む相撲で勝ち越し目指したい。

立ち合いをいかに速く立てるかが課題。体調に気を配り、万全で勝ち越し目指したい。

中に入られると何もできなかった。四股をしっかり踏んで地元場所でも勝ち越せるよう頑張りたい。

＜トピックス＞

平成29年初場所の千秋楽祝賀会は、新年会も兼ね、1月22日にホテルニューオータニ東京で開催されました。森元内閣総理大臣ら200名を越す来賓・後援者の皆様も駆けつけてくださっての盛会となり、力士一同、大阪場所での更なる活躍を誓いました。
また、1月25日には、新横綱・稀勢の里関の土俵入り用の綱を作るために行われた麻もみと綱打ちに同門である高田川部屋力士たちも参加させていただきました。神聖な行事であるとともに貴重な体験となりました。

三役行司　式守勘太夫の目

先の一月場所前半戦、幕内・輝、そして十両・竜電、共に負けが先行し、肝を冷やしましたが、師匠は本場所中の稽古内容を工夫し、根気よくアドバイス。それが如実に勝ちへと繋がっていきました。このように師匠の思いと弟子たちの向上的姿勢の歯車がかみ合った時、本当の躍進を遂げるものと強く確信しました。

新年会の意味合いも兼ね、千秋楽祝賀会はホテルニューオータニ東京で開催。関取たちの白星が重なるのに並行して出席返信も増え、当日は元総理大臣の森喜朗様、輝関の遠縁にあたる元横綱の輪島大士様も駆けつけてくださって、新横綱・稀勢の里関に続けとばかりに、パーティの雰囲気も一気に高まりました。

高田川親方の喝！

両関取とも前半戦が悪過ぎる。つまり、前半戦さえうまく乗り切れればもっと楽に大勝できたのだ。勝ち越したが三、四番は損をしている。初日から集中し、己の持っているもの全て出せるように鍛錬、稽古を怠らずやっていけ。

総体的には部屋全体に力がついてきている。しかし、もう一つ足りない。そのもう一つを探すためには稽古しかない。自分で課題をみつけて、どういう立ち合いをすれば相手にダメージを与えて、どういう相撲を取ったら番付が上がっていくのか。寝ても覚めても相撲のことだけ考えて稽古しているような、そんな稽古の虫、相撲バカになれ！

＜ご案内＞

高田川部屋 激励会
平成29年 3月5日(日) 午後6時 開宴

高田川部屋 千秋楽祝賀会
平成29年 3月26日(日) 午後6時半 開宴

※ 会場は両日とも大阪商業大学エステラス（会費制）

各お問い合わせ・お申込み　／　行司　式守勘太夫
電話　090-3215-6524